

「奨学金制度」について

高等学校や高等専門学校に進学を希望し、経済的理由により進学困難で、かつ、人物・学業とも奨学生としてふさわしい人のために、就学に必要な資金の一部を貸し付ける奨学金制度があります。奨学金には、「貸与型」（返済必要）の奨学金と「給付型」（返済不要）の奨学金があります。

＊奨学金事業は、日本国憲法第26条及び教育基本法第4条第3項に基づき、経済的理由により修学に困難がある優れた学生等に対し、教育の機会均等及び人材育成の観点から経済的支援を行う、重要な教育政策です。

現在、学校に案内が届いているのは、「交通遺児育英会」と「あしなが育英会」です。

（公益財団法人）「交通遺児育英会」奨学生（高等学校・高等専門学校）

保護者等が道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害で働けないため、経済的理由で修学が困難な高等学校以上の生徒・学生に奨学金を貸与して、教育の機会均等を図り、社会有用の人材を育成することを目的としています。「交通遺児育英会」の奨学生募集には、進学前に奨学金の貸与を予約する予約募集と、進学後に申し込む在学募集があります。

交通遺児育英会奨学金制度の概要

- 1 保護者が交通事故で死亡・重度後遺障害となった家庭の子供が対象
 - 2 高校生以上の生徒・学生に貸与
 - 3 奨学金は無利息
 - 4 奨学金 月額2万円～4万円（一部支給あり）
 - 5 入学一時金 20万円～60万円（1年次1回限り・全学貸与）
 - 6 返還は最長20年
 - 7 入学前の予約申請制度あり
 - 8 「海外語学研修」「小学生の集い」などの制度あり（交通遺児育英会が費用負担）
- ・学力の基準……採用に関して、本人の学業成績の基準はありません。ただし、奨学生となった後に留年すると原則として留年中の奨学金は停止されます。
 - ・家計の基準……家計の基準額は、家族数によって異なります。保護者に当たる方の収入金額が選考の対象となります。収入が無くても奨学金は借りられます。また、連帯保証人にもなれます。
 - ・予約募集期限……令和6年1月31日（募集人数 300人）
＊受験校や入学校が確定していなくても、希望の学校で予約応募は出来ますので、早めに応募してください。期限間際に集中すると手続面で支障をきたす場合がありますので、早めに応募してください。
 - ・申し込み方法……必要書類を整え、在学している学校を通してか、または直接交通遺児育英会まで郵送してください。直接、育英会に提出する場合は、その旨担任の先生に連絡してください。
＊応募書類は、交通遺児育英会奨学課に電話でお申し込みください。また、インターネットのホームページからでも応募書類関係のダウンロードが可能です。

（一般財団法人）「あしなが育英会」奨学生（高等学校・高等専門学校）

保護者などが病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死などで死亡、または保護者が著しい障がいを負っている家庭の子どもたちに奨学金を交付して、進学援助を行うと共に教育指導と心のケアを行い、もって「暖かい心」「広い視野」「行動力」「国際性」を兼ね備え、人類社会に貢献する人材を育成することを目的としています。

2024年度 あしなが高校（高等専門学校）奨学金： 中学3年生対象【予約募集】

- 1 募集期間 2023年9月1日から12月15日
 - 2 奨学金月額 30,000円（給付）
＊私立高校入学一時金（30万円）を貸与する制度もあります。
 - 3 募集人数 650人程度
 - 4 返 還 私立高校入学一時金は、高校卒業後の半年後から20年以内に無利子で分割返済
- ＊募集のしおり・申請書等は、募集開始である9月1日頃に送付される予定です。



○その他の奨学金

〔中学3年次に申込(申請)可能なもの〕 ※予約奨学生

公益財団法人 長崎県育英会(無利子) ※高校・高専

※学校の方に、まだ案内が届いていないので、詳しい内容等については後日お知らせします。

〔中学3年次～高校1年次に申込(申請)可能なもの〕

独立行政法人 日本学生支援機構(第一種奨学金は無利子) ※高専

佐世保市奨学金(無利子) (佐世保市教育委員会総務課) ※高校・高専

母子父子寡婦福祉資金貸付金(無利子) (佐世保市子ども支援課) ※高校等・高専

生活福祉資金貸付(無利子) (長崎県社会福祉協議会) ※高校等・高専

公益財団法人 長崎銀行奨学育成基金(民間団体) ※高校・高専

長崎県内地域における教育、文化等の振興を図るため必要な助成を行い、もって社会開発に資することを目的とし、高等学校、高等専門学校、専修学校(専門課程)、短期大学、大学(通信による教育に係るものを除く)に在学する長崎県の出身者に対する奨学助成、教育文化活動の奨励、助成を行っています。(公益財団法人長崎銀行奨学育成基金HPより)

公益財団法人 岡田甲子男記念奨学財団(民間団体) ※高専

創設者(前理事長)岡田甲子男(おかだきねお)さんは、長崎県に生まれ、県立佐世保南高等学校を経て、学資を得るためアルバイトなどを行い、大変苦労しながら早稲田大学を卒業されました。その後、旺盛な探究心と多彩な体験を積み重ね、昭和41年に現在経営しているアリアケジャパン株式会社を設立し、天然調味料事業の礎を築きました。当時、自己資本7万円で創業した会社を持ち前の強い探究心と信念で困難を乗り越え、現在では日本国内のみならず、アメリカ、中国、台湾、ベルギー、フランス、オランダと世界7拠点に工場を有する世界最大の天然調味料生産メーカーにまで発展させました。

(公益財団法人 岡田甲子男記念奨学財団HPより)

公益財団法人 岡田甲子男記念奨学財団(民間団体) ※高校・高専

松藤奨学育成基金は1983年2月16日に松藤グループの初代社長松藤渉によって設立されました。長崎県内に住んでいる、交通遺児や家庭の経済的理由などにより修学や進学が困難とされる学生に、優秀な人材の社会輩出を目的として、奨学金制度を設け援助を行っています。これまで532名の学生が松藤奨学育成基金を受けて巣立っています。また、更に154名の外国人留学生も松藤奨学育成基金の給付を受けました。(松藤グループHPより)

※3年生には、長崎県教育委員会から「奨学金制度」に関するリーフレットおよび「高等学校等就学支援金制度(私立高校)」のちらしが届いています。本日、配布していますので、参考にしてください。